

千代田国際中学校

CHIYODA INTERNATIONAL JUNIOR HIGH SCHOOL

未来の学校

どんな学校を選ぼうか、
という前に、
どんな人生を送れたら
ほんとうに幸せなのでしょう。

いい学校ってなんでしょう。
入るのがむずかしい学校でしょう。
それとも、校舎や設備が充実している学校でしょう。
きっと、いろいろな意見や考えがあるはずです。

その答えを出すためには、いい学校とは何かを考える前に、
いい人生とは何かを考える必要があると私たちは思います。
なぜなら、有名大学を出て大きな会社に入れば、
幸せな人生を送れるという、ひとむかし前のあたりまえは、
もうすっかり変わってしまったから。
会社員でも、アーティストでも、幸せのかたちは人それぞれ。
100人いたら100とおりの幸せがある。
だからまず「どの学校がいいか」ではなく
「どう生きるのが幸せなのか」を、
家族でよく話し合っしてほしいと思うのです。

ここでは、子どもたちが、ほんとうに幸せな人生を送るために
私たちの学校が大切にしていることをお伝えします。
その上で、これからの人生について考える、
ひとつのきっかけになれば嬉しいです。



いまの子どもたちが大人になるころ、
半分以上の人が、いまはまだ
存在しない職業についている。

ほんの数十年前、YouTuberが職業になるなんて、だれが想像したでしょうか。たったこの10年でも、新しく生まれた仕事や、逆になくなってしまった仕事もあります。きっと、いまの子どもたちが大人になるころには、いまはまだ存在しない仕事をしている人がたくさんいるはず。そんな正解のない社会に求められるのは、先生や親の言われたとおりに歩いていく人ではなく、自分の強い意思をもち、自分で人生を切り開いていける人。学校は、その意思を見つける場所だと、私たちは考えています。



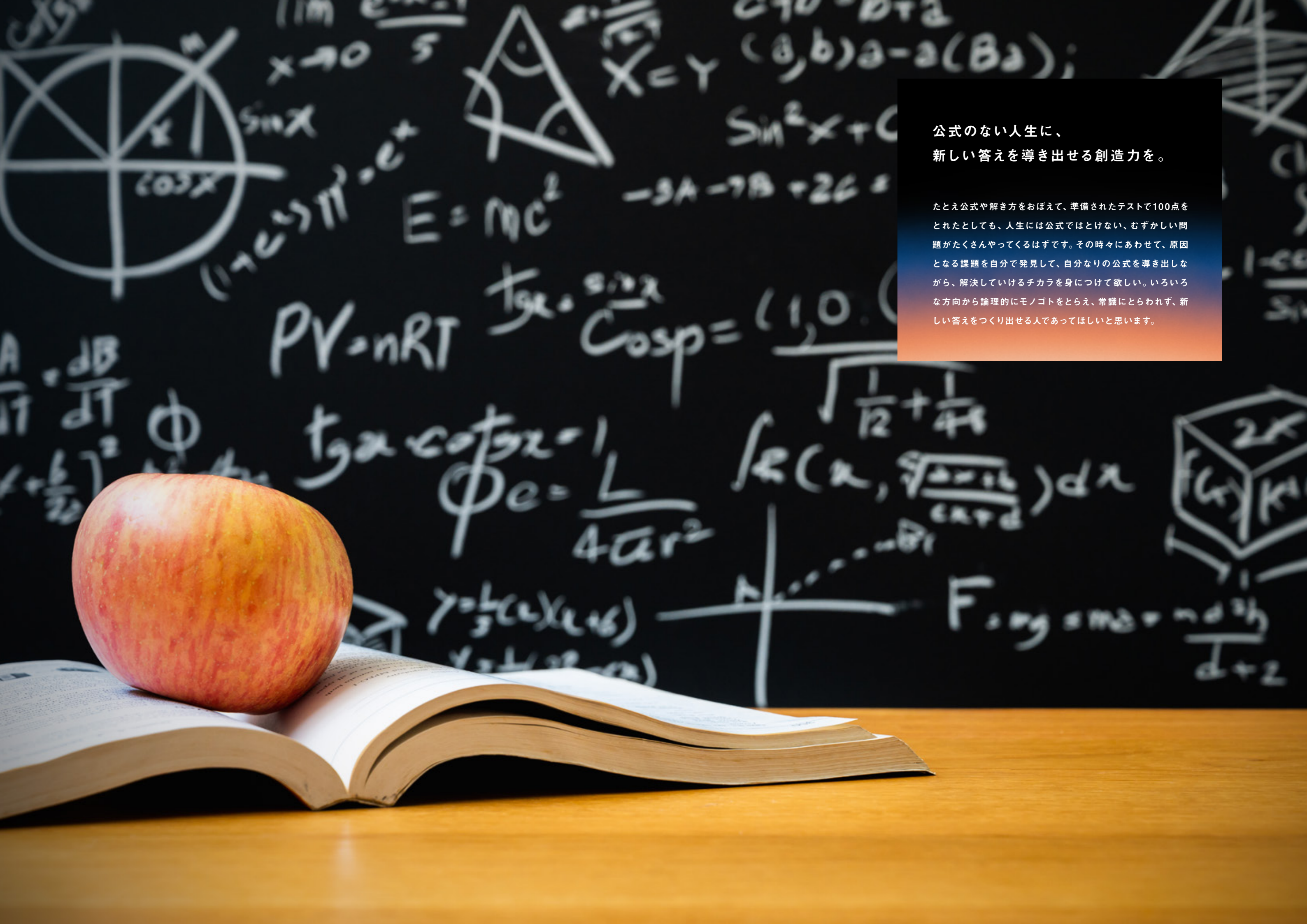
世界に出るために必要なのは、
英語のチカラではなく
自分の意見を言うチカラ。

学校の英語の成績はよかったのに、世界中の人があつまる会議で発言できない日本人はたくさんいます。なぜでしょう。自分の意見を言うよりも、人の話を黙って聞くことのほうが良いことだ、それがあたりまえだと教えられてきたからです。もちろん人の意見を受け入れることは、お互いのちがいを理解しあうためには大切です。けれど、もっと大切なことは、自分はどう思うのか、なぜそう思ったのか、相手が誰でもためらわずに伝えられること。それは、これからの国際社会で活躍するために、英単語や文法を覚えることよりも必要なことではないでしょうか。

正しい表現よりも、
人の心を動かす表現を
学んで欲しい。

正しい言葉や、正しい表現を学ぶことは大切ですが、それだけでは人の心を動かしたり、多くの人から共感してもらうことはできません。私たちが本当に学んで欲しいのは「物語」をつくるチカラ。喜怒哀楽を豊かに表現する、文章力や言語化力です。それは将来、スポーツでも、仕事でも、リーダーシップが求められるいろいろな場面で、きっと役に立つチカラとなるはずです。





公式のない人生に、
新しい答えを導き出せる創造力を。

たとえ公式や解き方をおぼえて、準備されたテストで100点をとれたとしても、人生には公式ではとけない、むずかしい問題がたくさんやってくるはず。その時々にあわせて、原因となる課題を自分で発見して、自分なりの公式を導き出しながら、解決していけるチカラを身につけて欲しい。いろいろな方向から論理的にモノゴトをとらえ、常識にとらわれず、新しい答えをつくり出せる人であってほしいと思います。

人生、思い通りにはならない。
だから、たくさん実験して、
たくさん失敗しよう。

「きっとこうなる」と思っていたことの多くは、その通りにいくことのほうが少ないですね。だから、失敗しても、どんどんやり方を変えながら、チャレンジすることの大切さや、自分で仮説を立て、トライアル&エラーしながらゴールに近づく楽しさを、知ってほしい。学校とは本来、たくさんの失敗という体験の中で、学びを繰り返していくところですから。私たちの学校は、生徒が思いっきり実験し、安心して失敗できる場所でありたい。一人ひとりの「やってみたい」を、後押しできる学校でありたいと思います。



ほんとうに幸せな人生を歩むための
未来の学校をつくりたい。

これからの子どもたちに問われているのは「Who are you?」

つまり「あなたは、どうやって世界に貢献するのですか?」

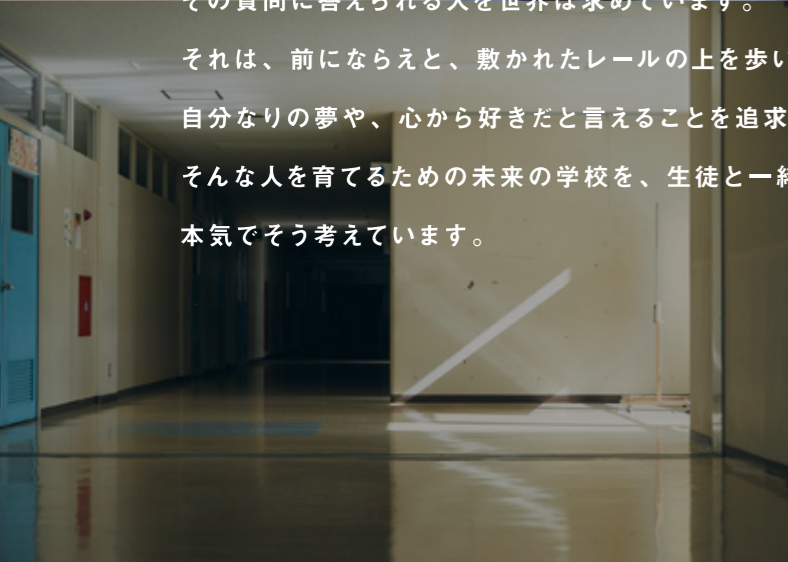
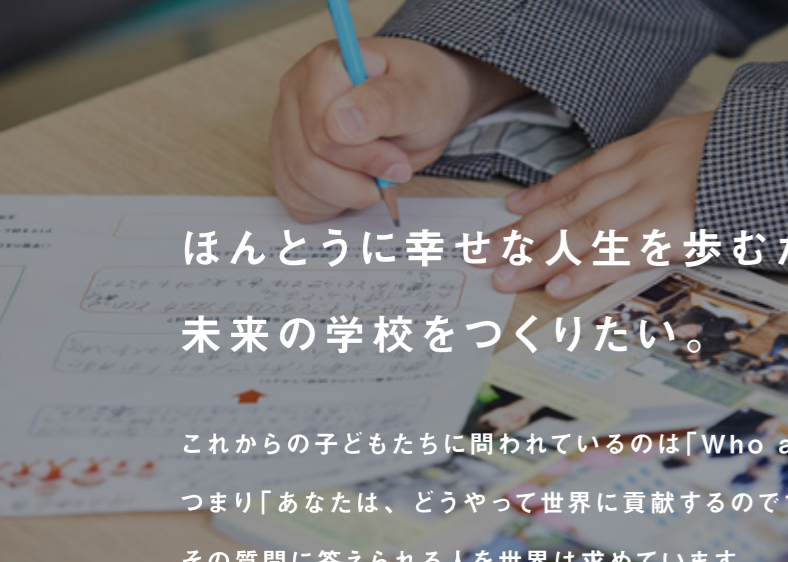
その質問に答えられる人を世界は求めています。

それは、前にならえと、敷かれたレールの上を歩いていく人ではなく、

自分なりの夢や、心から好きだと言えることを追求して、社会に貢献していく人。

そんな人を育てるための未来の学校を、生徒と一緒に作りたい。

本気でそう考えています。



「未来の学校」とは？ わたしたちが大切に 6つの価値観

Purpose

「なんのために？」を
見つけよう。

学校とは本来、叶えたい夢や目標を達成するために、
学び続ける人を育てる場所。公式や年表を暗記すること
自体に、意味はありません。本当に幸せな人生を考える
上で「なんのために？」という疑問を、自分で解決でき
る人を育てることが、教育の目的だと考えています。

Challenge

安心して、
失敗しよう。

学校とは、安心して「失敗」を経験し、学びを繰り返す
ための場所です。わたしたちの合言葉は「チャレンジ
してみよう！」。授業でも課外活動でも、生徒たちに新
しい発想で考えてもらい、やりたいことはどんどん
やってもらう。その挑戦と失敗のなかにこそ、本物の
学びがあるはず。

Expression

ためらわずに
意見を言おう。

国際化が進む中で、ためらわずに自分の意見を言える
人であるために、私たちは学びの場での、対等な関係
性を大切にしています。生徒が先生に対し、「授業は
もっとこうしたほうがいい！」と言えるぐらいが理想で
す。誰かの顔色ではなく、自分の意思を大切にしてい
たいと思っています。

柔軟に、
変化を続けよう。

グロースマインドセットとは「しなやかな思考と態度」
のこと。これからの社会、言われた通りにできること
に、もう価値はありません。「新しいことをできるの
は、若い自分たちだ！」と信じ、どんどん革命を起こし
ていって欲しい。自分だからできることを意識しなが
ら、自らを柔軟に変化させていく力を育みます。

Self- Management

自ら立ち、
自らを律しよう。

学校は、生徒に対し、全てのことに一つひとつ手助け
をするような対応はしないつもりです。基本的な考え
方として「自立」と「自律」の精神を大切にしているか
らです。もちろん、生徒の進路を支えるためであれば、
全力で応えますが、生徒が自分で考える力を育てるた
めに、生徒自身の意思で考え、行動するのを待つこと
も、大切だと考えています。

Growth Mindset

ちがいを知り、
自分を知ろう。

性別や年齢、国籍や宗教、育ってきた環境がちがうか
らこそ、一人では生み出せなかったアイデアや発想が
生まれます。一人ひとりにとっての当たり前は、それぞ
れでちがっていていい。それをお互いに認め合うことが、
本来のダイバーシティであると考えています。

Diversity

教育のこだわり

Education

「あなたはどのように社会に覚えられたいか？」
つまり、自分はどのように社会に貢献したいのか。
その問いに答えられる人を育てたいと考えています。

「Who Are You?」に向き合うための土台をつくる教育。

国際教育



自分の知らない世界を知り、ちがいを受け入れることで、自分自身の土台となる考え方を築くことが、国際教育の基盤であると考えます。そのために、英語を学んだり、海外での経験を積んだりするのはもちろんですが、ディスカッションなどの場において、ためらわずに自分の意見を発言できるマインドを大切にしています。世界が抱える課題にオーナーシップをもって挑む、真のグローバル教育こそ、本校の国際教育がめざすゴールです。

心の教育

しまじもくらい
本校は島地黙雷師が創設した浄土真宗本願寺派の宗門校です。
週に1時間ある「宗教」の時間では、個性を大切にし、互いを認め合い、共に生きるという「心の教育」を展開しています。



「Who Are You?」の答えを探す旅へ。

— 自分らしく世界に貢献するための3つのステップ —

STEP 1

Challenge

自分らしさを理解し、
世界との出会いを楽しむ。

知識やスキルを詰め込む前に、自分自身をよく理解すること。
まずは、「人・もの・世界」との新しい出会いを楽しみ、
恐れずに自分の言葉に耳を傾けます。

STEP 2

Change

他者をよく理解し、
学問とキャリアの入り口に立つ。

授業で学んだ物事の見方や考え方を生かしながら、
他者とフィードバックしあうことを楽しみます。
自分とはちがう他者の価値観や考え方を受けとめることで、
学問に対する姿勢と自分らしいキャリアの考え方を磨きます。

STEP 3

Contribute

社会への好奇心を育み、
自分らしい貢献を考える。

社会人との交流やプロジェクトを通じて、ホンモノに触れ、社会をよく観察すること。
授業の枠を超え、身の回りの社会に対して仲間と力を合わせてアクションを起こします。

教育の特徴

Education

カリキュラムは大きく3つの構成に分かれています。

「守破離」を何度も繰り返す中でこそ、

「Who Are You?」の答えが明確になり、

本当の意味で社会に貢献できる力が育つと考えます。

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1限						
2限			SBL (Subject Based Learning)			LAP (Liberal Arts Project)
3限			Skill/Knowledge のインプット。 学びの基礎を固めて、土台を形成する。			リベラル アーツ 体験 プロジェクト
4限						
5限			PBL (Project Based Learning)			
6限			Skill/Knowledge のアウトプット。 使うことで知識をアクティベートする。			

※時間割は、イメージです。

LAP (リベラルアーツ)

グラフィックレコーディング



LAPの授業のひとつとして、文章の代わりに、図やイラスト、記号などを使いながら、直感的に情報を記録する「グラフィックレコーディング」を取り入れています。直感的な自己表現を楽しみながら、言葉以外の方法で学んだことをアウトプットすることで思考力と表現力を鍛えます。また、わかりやすく効果的に相手に伝わる表現を身につけることも目的のひとつです。教科に縛られることなく、社会人との学び合いの中でインプットとアウトプットを繰り返すことで、自分達の「パーパス」に気づきます。

SBL × PBL

国語 × 美術



たとえば、国語と美術を掛け合わせた授業では、オノマトペ（擬声語）を使うことによる効果について学び、言葉と絵やイラストなどを組み合わせてストーリーをつくりたり、身近な課題の解決に生かすアウトプットを考えたりしています。表現の多様性を学ぶことで、人の行動を変えたり、課題を解決するための多様な表現力について学ぶことを目的としています。

理科 × 技術家庭科



理科と技術家庭科では、調理実習と実験を掛け合わせた授業を行っています。たとえば、溶けないアイスづくりに挑戦したり、食品から脂質を抽出する実験を行ってみたり。身近な生活の中に疑問を見出し、立証するための知識と技術を身につけることができます。また、科学的な視点で物事を捉える力は、仮説を立てて検証を繰り返す中で、課題を解決へ導く思考力を鍛えることにもつながっています。

制服紹介

School Uniform

ブレザーのチェック柄、襟から裾まで施されたパイピングなど、
着心地のよさとファッション性を追求した、
千代田国際中学校らしいデザインです。
生徒の成長に合わせた仕様で、学校生活をサポートします。



BEAMS SCHOOL

product by **KANKO**

制服は、BEAMS SCHOOL
product by KANKO ブランドです。



設備環境

School Images

校舎内は Wi-Fi 完備。

全面ホワイトボードの教室 ARC (Academic Resource Center) や
生徒同士が楽しくコミュニケーションのとれるカフェスペース、
大学レベルの実験器具を備えた理科室など生徒一人ひとりの
探究心を高める環境が整っています。



校長
メッセージ
Message



校長
日野田 直彦
Naohiko Hinoda

1977年大阪生まれ。2014年に公立では最年少で、大阪府立箕面高等学校の校長に着任し、ボトムアップ型の学校改革を教員・生徒と共に取り組み、就任3年目には海外大学への進学者を多数輩出。

自らの人生に、オーナーシップを持とう。

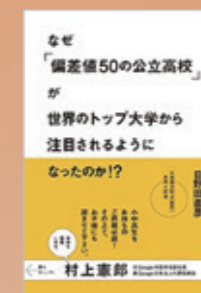
世界はいま、大きな変換点にあります。テクノロジーが大幅に進化し、それに合わせてグローバル化も急速な勢いで進んでいます。時代の変化に合わせて、生活・仕事・学習の仕方を考え直す時が来たと感じている人も多いかもしれません。“誰も答えを知らない時代への突入”。このような困難な時代には「自分がこの世界をなんとかしよう」という強い気持ちが必要です。この先、積極的に立ち向かう心を持っている人にとっては、やりがいのある、冒険に満ちた人生が待ち受けている時代とも言えるでしょう。

私たちの学校で大切にしているのは、何事も「他人事にしない」精神。その基礎になるのが「Challenge Change Contribute」の3つの考え方です。まずはChallenge。失敗を恐れずに挑戦し、フィードバックをたくさんもらうこと。正解のない時代だからこそ、あきらめることなく何度も小さな挑戦を続けることで人は成長していきます。次にChange。変化に対して常に柔軟で、前向きであること。変化する世の中でも、しっかりした自分の人生の哲学(Who you are.)を持てる人であって欲しい。それを中心に、柔軟に思考を

転換できる生徒を育てたいと思っています。最後にContribute。小さなことでもいいので、自分の身の回りの社会に対して貢献する意識を持つ。その積み重ねこそが、世界を大きく変えていくということを学んで欲しいと思います。

本校とかかわりの深い釈尊、親鸞聖人は、時代に流されることなく、人々が必要としている新しい価値を打ち立てました。また、学祖 島地黙雷は、個性を大切に互いを認め合うことで、共に生きるという“心の教育”を行い、明治期に国際理解教育にも尽力してきた人でした。本校の礎を築いてきた人たちの思いを軸に、世界をリードし、変えていく「勇者」を育てていきたいと考えています。

日野田 直彦

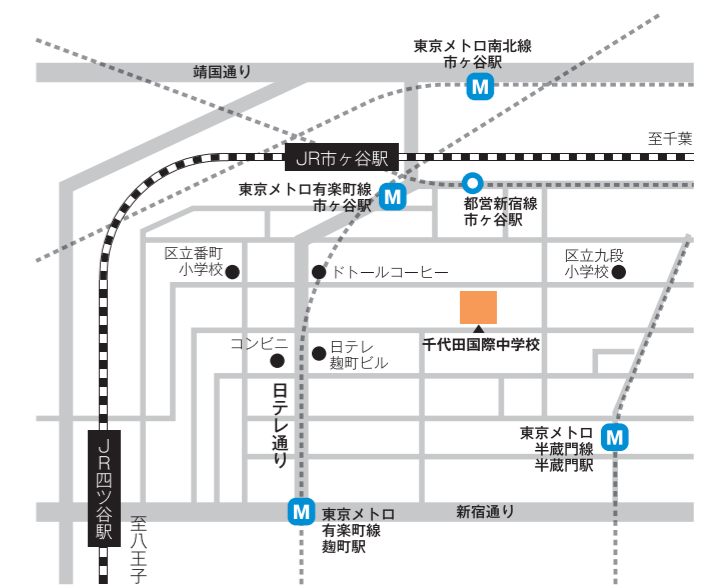


本校校長著書：「なぜ「偏差値50の公立高校」が世界のトップ大学から注目されるようになったのか!?」。

What's your true happiness?

Access

※数字は主要駅からの最短の所要時間です



- 市ヶ谷駅より | JR 総武線 市ヶ谷駅から
東京メトロ 有楽町線 市ヶ谷駅 3 番出口から
都営新宿線 市ヶ谷駅 A3 番出口から
学校まで徒歩 7 分
- 麹町駅より | 東京メトロ 有楽町線 麹町駅 6 番出口から
学校まで徒歩 5 分
- 半蔵門駅より | 東京メトロ 半蔵門線 半蔵門駅 5 番出口から
学校まで徒歩 5 分
- 四ツ谷駅より | JR 中央線・総武線 四ツ谷駅 麹町口改札から
学校まで徒歩 10 分

千代田国際中学校

住 所 〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地
お問合せ TEL 03-3263-6551

千代田国際中学校

〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地

TEL 03-3263-6551